

一般社団法人 埼玉県経営者協会会報

埼経協ニュース



2・3

'22 月号

第十回トップセミナー

「『逆境経営』ピンチはチャンス！〜 瀬祭(だっさい)が挑戦を続ける理由〜」を開催

奇跡の酒ともいわれる純米大吟醸「瀬祭」。世界中にファンを持つ、日本を代表するお酒です。

一月二日(金)第十回トップセミナーは、瀬祭を製造する旭酒造株式会社取締役会長の桜井博志氏を講師にお迎えし、オンラインで開催しました。当日は、経営層の方にご視聴がありました。

■米作りに夢を



山田錦プロジェクト



瀬祭の製造には山田錦という高級米を使っている。一時期、米そのものは余剰なのに山田錦の生産が不足する状況があった。農家に山田錦の生産をお願いしても、断られてしまう。山田錦よりも、国から補助金がもらえる米の生産の方が得だというのだ。

なんとか山田錦の生産量を増やしたい、農家の人に米作りに夢を持ってほしい、そんな思いで、優勝者に桁外れの賞金を出す「山田錦プロジェクト」を始めた。その米で作った瀬祭は、サザビーズのオークションで一本八四万円の高値が付いている。

■高価格商品への転換

私たちの酒蔵の周囲は、山、山、山だ。先代から継いだ会社の経営は厳しく、もはや地元でやっていくことは困難だった。東京市場に出る決断をしたのは、それしか手段がなかったからだ。その際、安い清酒から高価な純米大吟醸に転換を図った。小さな市場で同業他社を叩き潰して自社の売上をとるビジネスの仕方はよくない。大きな市場で少しの売上をいただくことが成功の秘訣だ。

東京市場で売れるようになって

からは、世界にも売上を伸ばしている。二〇二〇年は、コロナでインバウンドがなくなったが、その後二〇二一年は輸出を伸ばし、過去最高の売上を記録した。販売数量は減少したが、高単価な酒が売れている。コロナがもたらした私たちに對する大きなチャンスだ。

■科学的なデータによる酒造り

杜氏さんの酒造りに飽き足らず、更によいものを目指した結果が、データ化による酒造りである。これは、わかる人だけの暗黙知から形式知への転換といえる。データ化により、糖化・発酵指標の新たな発見につながった。

しかし、同時にデータ以外にも未発見の要素があることの理解につながっている。一例として、エタノール濃度の発見だ。発酵の中には、未知のものがたくさんある。だからこそデータだけで酒は造れない。商売に勝つことだけが酒造りではない。常にその先にあるのは、おいしい酒の追求だ。

■今秋オープン予定！ NY酒蔵

現にアメリカには日本企業の酒蔵がいくつ也存在する。ただ、残念なことに、スーパーマーケットの最下段に六ドル五〇セントで並ぶような安い酒が中心だ。これでは日本酒が市場でリーダー的な地位をとることは難しい。世界を牽引しているアメリカ市場に高品質



講演をする桜井博志氏

■ピンチとチャンスは表裏一体

四年前の西日本豪雨では、山口県の酒蔵が被害を受け、多方面からご支援をいただいた。今現在もコロナで苦勞をされている方も大勢いる。だからこそ言いたい。困難や苦勞の中に人生はある。人間はある。

人間には、困難を乗り越えてきた歴史がある。チグリス・ユーフラテス川の氾濫によってメソポタミア文明が興ったように、また、ペスト流行で多くの死者が出た結果、その教訓として食料の供給率が上がったように、我々は困難を乗り越え新しいものをつくってきた。ピンチとチャンスは表裏一体。コロナ禍の現在、ぜひ新しい明日を切り開いていただけたらと思う。講演では、様々な映像をご紹介しながら、ビジネスに関する考え方を熱く語っていただきます。

参加者アンケートでは、「常に

先を見据える先見の明、逆境を好機に捉えて果敢に挑戦する力強さが参考になった」「おいしいお酒

を追求し、売ることが先に来ないという考えに感銘を受けた」等のご感想をいただきました。

第二十回渋沢栄一賞表彰式、オンラインにて開催。伊藤雅俊氏、大山健太郎氏、鈴木修氏が渋沢栄一賞を受賞。

二月十四日(月)、新型コロナウイルス感染症防止対策のためオンラインにより開催された表彰式において、埼玉県出身の実業家渋沢栄一の精神を受け継ぐ全国の企業経営者に「第二十回渋沢栄一賞」が贈られた。受賞者は、株式会社ゼン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区)名誉会長 伊藤雅俊氏、アイリスオーヤマ株式会社(宮城県仙台市)代表取締役会長 大山健太郎氏、スズキ株式会社(静岡県浜松市)相談役 鈴木修氏の三名であり、受賞理由は次のとおり。

スタート、一九五八年にヨーク堂(現イトーヨーカ堂)を設立し、レギュラーチェーン店展開を開始。
一九七四年にセブンイレブンを開店。
高度経済成長とともに、総合スーパー、コンビニエンスストア等を有する巨大小売業グループに成長させ、日本経済の発展に大きく貢献。

■伊藤雅俊氏(株式会社ゼン&アイ・ホールディングス 名誉会長)
■大山健太郎氏(アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長)
■鈴木修氏(スズキ株式会社 相談役)

◆社会への貢献
経済的理由により苦学を強いられている若者の支援を目的に一九九四年(公財)伊藤謝恩育英財団を設立、二〇二一年までに大学生を中心とする約一〇〇〇名に奨学金等を支給。

◆会社概要
・純粋持株会社、一九二〇年創業(羊華堂・ヨーカ堂の前身)。
・従業員数五八七五人(連結、二〇二一年二月二十八日現在)。

◆社会への貢献
東日本大震災の被災地を代表する企業として、日本の抱えている課題に商品・サービスを通じて解決策を提供する「ジャパン・ソリューション事業」を実施。
生活者の日常の不足・不満を解消するユーザーイン発想の商品開発で年間一千万アイテムを発売。

◆優れた経営
・戦後、売り場面積二坪の洋品店から経営者としてのキャリアを

◆会社概要
・生活用品企画・製造・販売。
・一九五八年創業、従業員数一五五〇人(二〇二一年一月時点)



オンラインで受賞者3氏、小島深谷市長、利根審査委員長と会談する大野元裕埼玉県知事

◆優れた経営

・十九歳で家業を継承し、地方から世界で事業展開するグローバル企業に成長。
・東日本大震災の被災地を代表する企業として、日本の抱えている課題に商品・サービスを通じて解決策を提供する「ジャパン・ソリューション事業」を実施。

◆社会への貢献

・被災した地域・人々へ、支援物資の提供や義援金の寄附等を実施。
・東日本大震災の被災地の復興のために宮城県亘理町に精米工場、福島県南相馬市に資材製造工場を設立し、雇用創出。



相談したスズキ株式会社 相談役 鈴木修氏との対談

◆会社概要

・四輪車・二輪車・マリン製品などの製造・販売。一九二〇年設立、従業員数六八三九人(連結)。

◆社会への貢献

・一九八〇年に(公財)スズキ財団を設立、機械工業発展のため若い研究者などへ援助、助成件数一八五五件、助成総額約二二億五〇〇万円

目次 頁

- 第十回トップセミナー「逆境経営」～瀬祭が挑戦を続ける理由 一
- 第二十回渋沢栄一賞表彰式 二
- 子育て応援フードパントリーに焼き菓子を贈呈 二
- 「労働法実務対応講座」 三
- 第三回特別セミナー「仕事と育児・介護の両立支援セミナー」 三
- 埼玉大学特別公開講座 四
- 第七回トップセミナー「オーラルハザード型BCP」 五
- 第八回トップセミナー「サイバーセキュリティ対策」 五
- 第十一回トップセミナー「ポストコロナに向けて」 六
- 第十二回トップセミナー「DX人材戦略～リスキリング～」 七
- 企業経営者と高校生、保護者教員との「四者面談会」 八
- 第五回SDGs委員会「SDGs推進セミナー」 九
- 会員アンケート調査結果 十
- 埼玉大学「出会いの広場」 十四
- ものづくり大学へようこそ 十四
- 青年経営者部会「ブランドینگ戦略」 十五
- 青年経営者部会「人を大切にする経営」 十六
- 「働く女性応援講座」 十七
- 埼玉県からのお知らせ 十九
- 「ワンポイント労働法」 十九
- 告知版、会員の動き 二十

・二〇〇〇年に（公財）スズキ教育文化財団を設立、静岡県下の高校生・大学生へ奨学事業、支援総額約五億一五〇〇万円。
 ・二〇一八年に私財を投じて（公財）鈴木道雄記念財団を設立、障害者・高齢者福祉向上などへ

助成、助成総額約五〇〇〇万円。
 当日の表彰式では、受賞者と県庁の大野元裕知事をオンラインで結び実施し、受賞者三氏のほか、共催している小島進深谷市長、審査委員長の利根忠博本会名誉会長も参加して行われた。

子育て応援フードパントリーに焼き菓子を贈呈（寄付）～令和四年新年会員懇談会中止のため参加者用土産を寄付～

一月十二日（水）にパレスホテル大宮で開催予定でした「令和四年新年会員懇談会」は、新型コロナウイルスの感染急拡大を鑑み、中止とさせていただきます。昨年に引き続き、新年会員懇談会は二年連続の中止となりました。

本会では、当日のご参加者用に準備していた土産（焼き菓子）約一三〇個を埼玉県から紹介を受け



本会廣澤専務理事から草場代表への贈呈



土産として準備していたパレスホテル大宮の「焼き菓子」

たNPO法人埼玉フードパントリーネットワークに寄付し、一人親家庭等への無料配布に役立ててもらうため、一月十七日（月）、パレスホテル大宮にて贈呈しました。

贈呈は、本会廣澤専務理事から埼玉フードパントリーネットワークの草場澄江代表に託し「一人親や子ども達のおやつとして役立ててほしい」とお願いしました。

令和三年度労働法実務対応講座

『働き方改革における労働時間管理』～労働時間管理の基本から実務上の留意点まで～

「働きすぎ」を防ぎながら、「ワーク・ライフ・バランス」と「多様な柔軟な働き方」の実現を目指す」とされる『働き方改革関連法』。

その中で特に重要な改正のポイントである「労働時間管理」に焦点を当て、労働時間の基本から働き方改革に伴う新たな法規制の内容、そして、これに関連する実務上の留意点までを具体的に解説するた

め、十二月六日（月）、ソニックスホテルにおいて『働き方改革における労働時間管理』の講座を開催し、二三名の方が参加しました。

労働時間管理というテーマは、今年度春に開催した「労働法実務講座」の参加者の方からの関心も高く、アンケートでも望む声が高かったテーマです。

講師は石寄・山中総合法律事務所パートナー弁護士 塚越賢一郎氏に登壇いただきました。塚越弁



石寄・山中総合法律事務所
パートナー弁護士 塚越賢一郎氏

護士の解説は、明快でわかりやすいとの評価も高く、今回の参加者アンケートでも「資料も含め、とても理解できた」との声をいただきました。

講座は、スライド投影とレジュメテキストを併用して進められ、参加者には、塚越弁護士が厳選した様々な関連法規集や解説リーフレット、Q&A、手引きなども配布されました。

【講座の主な内容】

- 一 「働き方改革」が目指したもの
 (一) 働き方改革は何を目指したものなのか
 (二) 働き方改革関連法の本来のキーワードは「ワーク・ライフ・バランス」
 (三) 働き方改革関連法の異質かつ重要なキーワードは「上限規制」
- 二 時間外労働等の上限規制
 (一) 「労働時間」とは何か
 (二) 「労働時間」の把握方法
 (三) 労働基準法の労働時間規制の基本（労働時間・休憩・休日・割増賃金）
 (四) 労基法改正による時間外労働等の上限規制（入口規制と出口規制）
 (五) 時間外労働と休日労働の命令と
- 三 面接指導の強化等
 (一) 長時間労働・過重労働
 (二) 面接指導の強化・産業医の機能強化
 (三) 安全配慮義務とは
 (四) 業務災害と民事損害賠償責任
- 四 年次有給休暇の時期指定義務
 (一) 年次有給休暇とは
 (二) 労基法改正による年次有給休暇の時期指定義務
 (三) ワーク・ライフ・バランスを
 目指すその他の法規制
- 五 労働時間管理の実務
 (一) 労基法改正によるフレックスタ
 イム制の拡張
 (二) 労基法改正による高度プロフェ
 ショナル制度の導入
 (三) 勤務間インターバル制度の導入
 (四) 育児介護休業法の改正



労働法実務対応講座 会場の様子

- 六 「働き方改革」を踏まえた実務
- (一)優先順位をつける
 - (二)長時間労働の是正・過労死の防止に関するルールを厳守する

第三回特別セミナー

「仕事と育児・介護の両立支援セミナー」を開催

貴重な人材を長く職場に定着させるには「仕事と育児」「仕事と介護」の両立に不安を持つ従業員が安心して継続就業できる環境づくりをすることが重要です。

こうした働き方改革の推進は、従業員の離職防止や安定的な人材確保に繋がりますが、企業の実情やニーズを踏まえた制度構築が必須になります。

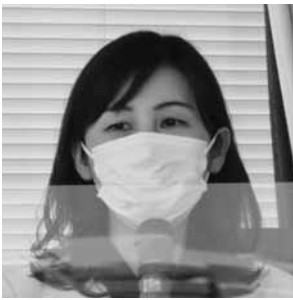
- (三)ワーク・ライフ・バランスのためのルールは法の定めを遵守しつつ、会社の実情を踏まえて運用する

社パソナと本会の共催で行われました。

まず、第一部として、中央仕事と家庭の両立支援プランナーの伊丹恵理奈氏より、講演いただきました。講演では、中小企業の人材確保における課題や、円滑な育児休業後の職場復帰等を支援するためのプラン、両立支援等助成金について説明頂きました。

二〇二三年四月一日から、育児・介護休業法の改正が三段階で施行されるため、逐次確認が必要と話されました。(例、一〇月一日から、産後パパ育休の創設や育休制度の改正)。

続いて、第二部として、仕事と家庭の両立支援プランナーの稲毛



中央仕事と家庭の両立支援プランナー 伊丹恵理奈氏



仕事と家庭の両立支援プランナー 稲毛珠里氏



埼玉大学 総合研究棟シアター教室の会場の様子

令和三年度埼玉大学特別公開講座 「新しい生活様式を見据えたイノベーション技術の探索」

新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、昨年度は中止しました「埼玉大学特別公開講座」を十二月十日(金)、埼玉大学会場とオンラインライブ配信のハイブリッドで開催し、来場三三名、オンライン参加は七四名で、合計一〇六名の方が参加しました。

今回のテーマは「新しい生活様式を見据えたイノベーション技術の探索」とし、コロナ禍、そしてアフターコロナを見据えて研究・開発している埼玉大学研究者の方からの「研究発表」、そして、先端産業企業の方からの「事例紹介」の二部構成で開催し、合計五名の発表者から最先端の研究やシステム開発について紹介いただきました。

埼玉大学特別公開講座は、埼玉大学と本会との共催という形で実施してきましたが、今年度は、

行うこと、両立支援等助成金について説明頂きました。

仕事と育児・介護の両立を支える育児・介護休業法の周知、活用がこれから重要になっていきます。

武蔵野銀行アプリ
リニューアルしてさらに便利になりました！

ダウンロードはこちら

グルメ・レジャー等
お得なクーポン
配信中！

Download on the App Store | ANDROID APP ON Google play

武蔵野銀行

経営者の皆さまの“こまりごと”の解決を
私たちが全力でサポートします！

- ビジネス創出の機会をご提供します。
- 経営のフォローアップに努めます。
- お客さまのニーズを共に考えます。
- 各種ソリューションをご提供します。

お客さまの“こまりごと”を解決するお手伝い！

ビジネスプラザさいたま

埼玉りそな銀行 **Business Plaza**
RESONA ビジネスプラザさいたま



埼玉大学大学院理工学研究科
松下隆彦 助教



埼玉大学大学院理工学研究科
幡野 健 准教授



埼玉大学 重原孝臣
理事・副学長の開会挨拶

埼玉大学先端産業国際ラボラトリー・メディカルイノベーションユニットも共催に加わり、また、埼玉県産業労働部先端産業課と埼玉大学産学官連携協議会が後援しました。



(株)AI メディカルサービス
多田智裕 代表取締役 CEO



(株)ピーエムティー
武居 修 専任執行役員



(株)イブシロン・モレキュラー・エンジニアリング
根本直人 代表取締役

講座は、重原孝臣埼玉大学理事・副学長の開会挨拶に始まり、二名の研究者からの研究発表、二名の先端産業企業代表者からの事例紹介、質疑応答などを経て、廣澤健一本会専務理事の開会挨拶で終了となりました。



(株)AI メディカルサービス
多田智裕 代表取締役 CEO のWEB講演の様子

各発表の後に設けた質疑応答の時間では、会場内で参加の方や、WEB参加の方から質問が出され、それぞれの講師との活発な意見・情報交換が行われ、参加した方の関心の高さを垣間見ました。そして、研究者や開発者の新しい生活様式に向けての画期的なイノベーション技術に対する思いや熱意を感じました。

第一部：埼玉大学研究者による研究紹介

また、開催後の参加者アンケート結果でも、四五名の方から回答をいただき、発表に対しての満足度は全体平均で八三・六%、次回以降もこのようなワークショップに参加したいという意見は九七%以上の結果となり、未来を見据えての研究や技術開発への興味の高さも伺えました。

【令和三年度埼玉大学特別公開講座の概要】

テーマ：新しい生活様式を見据えたイノベーション技術の探索

第七回トップセミナー

「今求められる『オールハザード型BCP（事業継続プラン）』の構築に向けて」を開催

日本では地震のみならず、近年頻発している大規模水害、昨今の新型コロナウイルスなど、事業活動を巻き取りリスクが後を絶ちません。こうした非常事態への備えは十分にできているでしょうか。十二月十六日(木)第七回トップセミナーは、損害保険ジャパン株式会社様との共催によりソニックスティで開催し、二二名の方にご参加いただきました。

【第一部】今求められるオールハザード型BCP構築に向けて「SOPPOリスクマネジメント株式会社」

第一部：埼玉大学研究者による研究紹介

会社リスクマネジメント事業本部
執行役員 篠目貴大氏

「令和三年度埼玉大学特別公開講座の概要」
テーマ：新しい生活様式を見据えたイノベーション技術の探索

後援：埼玉県産業労働部先端産業課、埼玉大学産学官連携協議会

(一)『凝集誘起発光(AIE)効果を駆使したウイルスの新規検出方法の開拓』／埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 幡野健 氏

(二)『ポストコロナに向けた装置開発事例』／株式会社ピーエムティー 専任執行役員 武居修 氏

(二)『多価化による高機能化』／埼玉大学大学院理工学研究科 助教 松下隆彦 氏

(三)『世界初の上消化器がん診断AIシステム開発』／株式会社AIメディカルサービス 代表取締役CEO 多田智裕 氏

第二部：先端産業企業からの事例紹介

共催：埼玉大学、埼玉大学先端産業国際ラボラトリー・メディカルイノベーションユニット、埼玉県経営者協会

続マネジメントこそが大切である。
■オールハザード型BCPの考え方

地震・風水害などのリスク要因（危機事象）ごとに計画を策定するのではなく、必要なリソースが使えなくなった場合の影響、例えば電力が調達できない、従業員が出勤できない等の結果事象に着目する視点が重要である。

■複数戦略の確保へ

有事の事業継続戦略として、現地の早期復旧を目指すのか、代替でまかなうのか、また、組織の生き残りのために、持久させるのか、事業転換を図るのか等、戦略を複数持つようにしたい。



講演をする篠目貴大氏



情報提供をする吉野公輔氏

■訓練で対応力向上を

訓練は、①講義②文書等の読み合わせ③ロールプレイング④ワークシヨップなどを適切に組み合わせ、実施後には課題を洗い出し、ブラッシュアップさせていく。

■事前対策として

ハード、ソフト、保険・ファイナンスの組み合わせが有効だ。

【第一部「企業を取り巻くリスクの分析・対策」損害保険シヤパン

第八回トップセミナー

「中小企業のためのサイバーセキュリティ対策セミナー」喫緊の経営課題として捉え、対策の重要性を知る」を開催

デジタル化情報の改ざんや漏洩などのサイバー被害。大企業の問題と捉えがちですが、セキュリティの脆弱性から中小企業が踏み台となる事案も増えています。

一月十七日(月)第八回トップセミナーは、東京海上日動火災保険株式会社社様と共催によりオンラインで開催し、三〇名の方にご参加いただきました。

【第一部「産業分野におけるサイバーセキュリティ対策」経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課企画官 佐藤秀紀氏

中小企業もサイバー攻撃の脅威にさらされている

ある調査では、取引先がサイバ

株式会社埼玉中央支店課長 吉野公輔氏

リスクアセスメントに関する支援、ハザードマップに関する情報提供、情報サービス「SuccessNet」のご紹介をいただきました。

参加者アンケートでは「多様な災害・ハザードへの対応方法や、どのような取組みが抜けやすいか」という情報がためになりました」等の感想をいただきました。

一攻撃被害を受け、それが自社に及んだ経験があると回答した企業が二五%あった。自社の防衛が取引先の防衛にもつながる認識を。

■サイバーセキュリティお助け隊 サービス

中小企業に対するサイバー攻撃の対処に不可欠なサービスを効果的かつ安価に、確実に提供する民間サービス。現時点で九事業者のサービスが登録されている。

■中小企業のセキュリティ対策目録【宣言「SECURITY ACTION」】

「OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！」などの情報セキュリティ五カ条に取り組みと一つ星が付与される。何をしたら

よいかわからない企業は、まずこの宣言から始めてほしい。

■地域SECURITY形成のためのプラクティス集

サイバーセキュリティのモデルとなるコミュニティへのヒアリングを実施し、公開しているのでぜひ参考にしてください。

【第二部「サイバーリスクを取り巻く環境と備えについて」東京海上日動火災保険株式会社営業開発部中小企業支援室兼企業商品業務部サイバー室課長 大西羽矢太氏

中小企業が被害にあったとき、最も影響が大きいものは「原因の調査・復旧対応に係る費用の捻出」であり、規模の大きい企業ほど「社会的評価の低下」「取引先・顧客への損害賠償」が大きい。

■サイバー攻撃「もはや災害」

昨年サイバー攻撃を受けた徳島県の病院は、外来患者の受け入れ

第十一回トップセミナー

「なぜ、それでも会社は変わらないのか」ポストコロナに向けて取り組むべきこと」を開催

二月二日(火)第十一回トップセミナーは、三〇年にわたる企業改革の現場経験を通じ、日本的な変革の方法論（プロセスデザイン）を提唱している株式会社スコラ・コンサルtant プロセスデザイン



基調講演をする佐藤秀紀氏



講演をする大西羽矢太氏

が全面停止となり、再開に二か月以上を要した。

■各種サービスの利用

自社サービスに加え、「Tokio Cyber Port」「BUDDY+」のサービスもぜひご利用いただきたい。

ナー代表の柴田昌治氏とプロセスデザイナーの山科雅弘氏のお二人を講師にお迎えし、ご講演いただきました。オンラインで開催し、一八名のご参加がありました。
【講演の概要】

生産性の伸びない日本

平成の三〇年で日本経済は停滞した。この停滞を招いた要因は、日本人の「思考停止」にある。「思考停止」とは何も考えないことではない。「どうやるか」しか考えないことだ。つまり、物事の意味・価値・目的を考えず、方法のみを模索する姿勢のことである。

「調整文化」と「挑戦文化」

この「思考停止」は、日本に蔓延している「調整文化」に原因がある。「調整文化」とは、従来のビジネスモデルの維持を目的として、前例踏襲や予定調和を大切にする文化である。混乱や失敗を避け、安定を強みとしている。格式や序列意識、作法といった「枠」

の中で思考を行うため、必然的に答えは既存のものの中から選択することに。これに対し、「挑戦文化」は、新たなビジネスモデルの構築を目的とする文化であり、ゆらぎと混乱の世界の中で、失敗から学ぶことを前提としている。「なぜやるのか」「何のためにやるのか」といった問いが思考の中心であり、「軸」を基準に考え抜く力が不可欠だ。

この二つの文化は、どちらが良い悪いという問題ではない。しかし、今の日本には「挑戦文化」が圧倒的に欠けている。日本人らしさ（ひたむき・勤勉・共感力・空気を読む力）という基盤の上で、日本の強みを活かした「挑戦」をしていきたいところだ。

■枠内思考から軸基準の思考へ
無意識のうちに、何らかのルールや約束事、前例、会社の作法、上司の意向などが、思考する上で「枠」になっていないだろうか。枠内思考をしている事実が気づいてほしい。そして、現代の経営に必要な能力は、自分なりの価値判断基準である「軸」を持つことである。「軸」を持つことで見直しが容易になり、状況に応じた多様な判断が可能になるだろう。

■オフサイトミーティング
枠内思考から脱却するカギとなるのは「拓く場」である。これは、すでにシナリオが敷かれていて答えをいただく場である「閉じる場」に対し、きっかけと知恵を生み出す場と位置付けられる。会議と飲み会の中間、まじめな話を気楽にする場として「オフサイトミーティング」を取り入れてはいかだらうか。

■「問い返し」と「問い直し」の必要性
一方的なトップダウンは、実行をあやふやにする。「なぜやるのですか?」「それはどういう意味ですか?」と上司に問い返すこと、

また、「そもそも、この場にはどんな意味があるのだろうか?」「そもそも、お客様とは誰なのだろうか?」など、「そもそも」の意味や目的、無意識の前提を問い直すことが必要だ。
当事者が育つために、ぜひ、対話の中で「問い返し」と「問い直し」を習慣化させていただきたい。
今回のセミナーは、参加者にもご発言をいただく双方向型のスタイルで進行了ました。画面越しやチャットで、講師と参加者との意見を交えながらのセミナーとなりました。

第十二回トップセミナー

「DX時代の人材戦略」成長への第一歩、リスクリングへ踏み出そう」を開催

一月二七日(木)、第十二回トップセミナーは、リクルートワークス研究所 人事研究センター長の石原直子氏をお迎えし、DXの本質とは何か、リスクリングとは何か、その重要性や現状、先進事例についてご講演いただきました。当日はオンライン開催で二三名の方にご参加いただきました。

※リスクリングとは、事業の大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する(させる)こと

【セミナーの概要】

「DXっていうけれど」

デジタルで、何をすればいいのか
コロナでもたらされた様々な不自由や制約を解決する可能性が最も高い手段がデジタルである。無人店舗のAmazon GOなどを

| 中小企業のリスキング 1+3の領域 | | | |
|--|---|--|---|
| 従業員のリスキング | | | |
| ■ 従業員のための3つのリスキング - 何のためのリスキングかによって3つの領域が存在する - 使いこなしのリスキング、企画推進のリスキング、仕事転換のリスキング | 領域1 使いこなしのリスキング 従業員が新たな業務力に必要スキルを習得できる | 領域2 企画・推進のリスキング 従業員がデジタル技術の活用方法を習得し、推進できる | 領域3 仕事転換のリスキング DXの進化に伴い、従業員がこれまでと全く異なる仕事に転換できる |

講演の様子

例にあげ、デジタルを使い「これまでにない形の新しい顧客体験を生み出す」ことが重要であると説明された。変革を起こすには、「顧客のことを徹底的に考えること」「デジタルの可能性と脅威を徹底的に理解すること」が必要である。

■「デジタル人材が必要だ」
どうしたらデジタル時代に必要となる従業員を増やしていけるか

必要なデジタル人材とは「お客様の望んでいることは何か」「それはどうやってたらできるだろう」を徹底的に考え抜く人材であり、驚きや失望など顧客の感情の動きを五感でキャッチする注意力と想像力を持つことが大切である。

その上で、リスクリングを進め、従業員に課題を解決する技術(デ



講演をする山科雅弘氏



講演をする柴田昌治氏



講演をする石原直子氏

デジタルテラシー」を身に付けさせることが必要である。「解決する手段は世の中にすでにあり」と思っただけで行動することや「自社の事業のために、いま必要なスキル」を学び、すぐに仕事に活かすことが重要である。そのために、無数にある外部の学習コンテンツを使うことも有効である。

■「リスキリングってどうするの？」

中小企業ならではのリスキリング
一番大切なことは、経営者の強い意志とリーダーシップである。

経営者のリスキリングは、解決すべき困りごとを見定め、解決に関わるデジタル技術の知識を身に付け、方向性を示し、従業員に指示するための学びである。

従業員のリスキリングは、デジタル技術の導入・活用のステージに応じて次の三つに分けられる。

- ①使いこなしのリスキリング
 - ②企画推進のリスキリング
 - ③仕事転換のリスキリングがある。
- それらについて、旅館業、金属製造業、印刷業の会社の事例をもとに具体的な取組などを紹介していただいた。

最後に、リスキリングは全ての人材に対して必要であることや、リスキリングを可能にする企業の条件などを紹介し、参加者に推進を呼びかけ講演をまとめられました。参加者からは、「顧客体験を

変える事の重要さに気付けた」「経営者のリスキリングの重要性をよく認識しました」などの感想をいただきました。

リクルートワークス研究所WE

キャリアデザイン・セミナー／企業経営者と生徒・保護者・教員による四者面談会開催

埼玉県教育委員会主催による四者面談会が一月二二日(土)、Zoom

によるオンラインで開催され、本会推薦の会員企業経営者五名(別記)と学校側から八組、二四名が参加しました。この面談会は平成十五年度より実施しており今年度で通算十八回となりました。

この四者面談会では高校生が企業経営者から企業や社会が求める

Bサイトに、研究内容、中小企業の先行事例等がまとまっているのでご興味がある方は、参考にしていただけたら幸いです。

人材像や企業人になるための心構え、学生時代になすべきことなど



中込 秀明 氏



石塚 巧 氏



廣澤 健一 氏



松本 伸一郎 氏



根岸 節子 氏

についてアドバイスを受けることで自分を見つめ直し進路選択能力を向上させると共に、生徒・保護者の職業意識形成を支援し、望ましい勤労観・職業観を育成することを目的としています。その意味において参加校は就職希望者の多い専門高校に限らず普通高校の生徒も毎年多数参加しています。また、学校のキャリア教育推進を担う教員に対して重要な意識改革の場ともなっています。

今年はおミクロン株の急拡大の影響を受け、対面形式からオンライン形式に変更して開催されました。初めてオンラインでの実施となりましたが、講師の皆様の温かい対応により、和やかな雰囲気での面談が進められていました。

面談終了後の生徒アンケートでは「進路実現に向けて参考になるお話をたくさんしていただいたことに感謝しています」や「いただいたお話を生かして、自分のやりたいことに自信をもって取り組んでいきたいです」などの感想が見られました。

保護者からは「実際に働いている方のポリシーが聴けてとても良い体験でした」や「大変有意義だったので、より多くの学生が体験できるとよいと思いました」などの感想が寄せられました。先生方からは「早い段階で企業



四者面談会の様子
(左上より 経営者、生徒、左下：教員、保護者)

経営者の方から話を聞いたことは、進路を迷っている生徒にとつて貴重な経験となりました」や「実際に経営者の方のお話を聴き、自身の指導や助言の仕方を確認できたので、自信を持って指導していきたい」などの感想が寄せられました。

◆参加企業経営者 (敬称略)

- ▽石塚 巧 キヤノン電子株式会社 専務取締役
- ▽中込 秀明 富士電子株式会社 代表取締役社長
- ▽松本 伸一郎 株式会社松本商会 代表取締役社長
- ▽根岸 節子 社会福祉法人隼人会 会まきば園 理事長
- ▽廣澤 健一 一般社団法人埼玉県経営者協会 専務理事

第五回SDGs委員会「SDGs推進セミナー」を開催

『企業価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献する』SDGsに取り組みメリットとは』

講師：リコージャパン(株)、埼玉県

二月四日(金)、第五回SDGs委員会「SDGs推進セミナー」をオンラインによるライブ配信に切り替えて開催し、Zoomで三名の方に視聴参加いただきました。

SDGsへの取り組みは企業の価値評価基準の一つとして事業活動の根幹に位置づける動きが活発化する中、大企業や自治体はもとより、中小企業にも参考となるSDGsへの取り組みや施策を紹介することも重視し、開催しました。



第一部「講演」リコージャパン株式会社 経営企画部 赤堀久美子氏



第一部「事例発表」リコージャパン株式会社 埼玉支社 小林ひろみ氏



第二部「埼玉版SDGsの推進について」埼玉県企画財政部計画調整課 佐藤 雅康氏

「ついて」と題し、埼玉県企画財政部計画調整課SDGs推進担当の方から埼玉県における推進状況の紹介と説明をいただきました。

「セミナーの概要」

第一部 講演及び事例発表

①講演「経営戦略として取り組むSDGs」

リコージャパン株式会社 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部 SDGs推進グループリーダー 赤堀久美子氏

●リコグループのご紹介
リコーは創業八六年、創業者・市村清の創業の精神と企業理念に基づき創業一〇〇周年を指している。

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という『三愛精神』の実践はSDGsに通じる。

●世の中の動き
SDGsと

経営統合の意義

●SDGsとESGの関係

●日本のESG投資の動き

●リコグループの経営統合の取り組み

●リコーウェイ―創業精神と企業理念―

●長期に亘る環境経営

●経営環境に与えるメガトレンド

●ESG目標によるマネジメント

●事業を通じた社会課題解決（SDGsへの貢献）

●社員教育・啓発の紹介

●SDGスキーパーソン制度：全国支社＋部門に四二〇人設置

●動画Ⅱ山形支社の取り組み事例

●自社の脱炭素への取り組み

●最後に：山下社長の社員へのメッセージ「皆さんの仕事のひとつが、社会課題解決につながっており。そしてそのことを、誇りを持って語れるような社員であってほしい」を紹介しまとめました。

②事例発表「埼玉支社における実践事例のご紹介」

リコージャパン株式会社 埼玉支社 事業戦略部 プロモーショングループ チーフアテンダント 小林ひろみ氏

●社員への啓蒙

●社会貢献活動

●各認証と登録の紹介

●SDGs出張授業

●VicareA オフィス紹介

●リコージャパン埼玉支社のオフィス見学（ジナル撮影を用いてレイアウト、ペーパーレス、BCP、RPA、共有文具、表示物などのライブ動画配信）

●第二部 推進状況「埼玉版SDGsの推進について」

埼玉県企画財政部計画調整課SDGs推進担当 主査 佐藤雅康氏

●埼玉版SDGsの紹介

●重点テーマ①埼玉の豊かな水とみどりを守り育む ②未来を創る人材への投資

●埼玉版SDGs官民連携プラットフォーム

●埼玉版SDGsパートナー登録制度

●埼玉版SDGsの推進について

●埼玉版SDGs推進スキーム

●SDGs未来都市への認定

●埼玉版SDGsロゴマーク

●重点テーマ分科会の紹介

●第三回シンポジウム開催結果

●県民向け普及啓発事業について

●埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」の紹介

●渋沢栄一翁の精神とSDGs

●以上で、各講演には視聴の方も関心を示され、Q&Aでは活発な質疑応答の時間となりました。

「埼玉県経営者協会会員アンケート」 集計結果について

当会では、会員企業の経営課題や取組状況、経営者協会に対して期待する内容、ご意見・ご要望をお聞きし、事業活動に反映させるためのアンケートを実施いたしました。

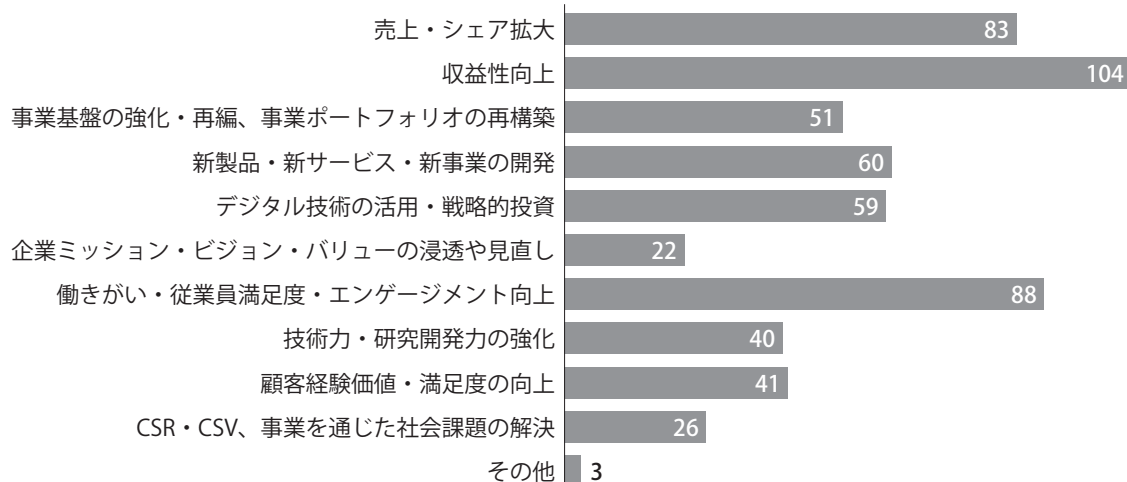
アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

調査方法

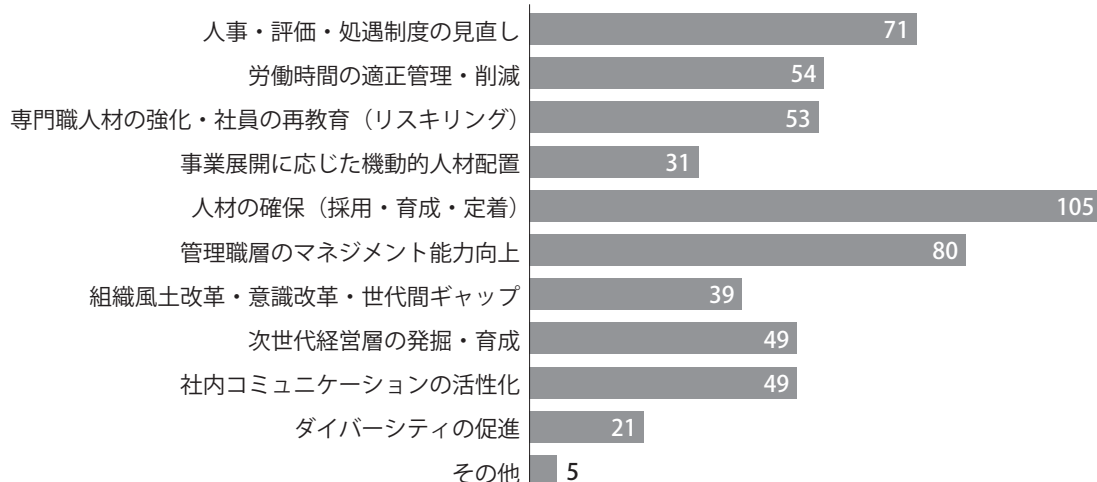
| | |
|-------------|---|
| ■ 調査実施期間 | 令和3年11月26日(金)～12月28日(火) |
| ■ 調査対象 | 会員企業 618社 (調査日現在) |
| ■ 回答方法及び回答数 | ①アンケート用紙・郵送 65件 ②アンケート用紙・FAX 10件 ③Webアンケートシステム 76件 計151件 (回答率24.4%) |

調査結果

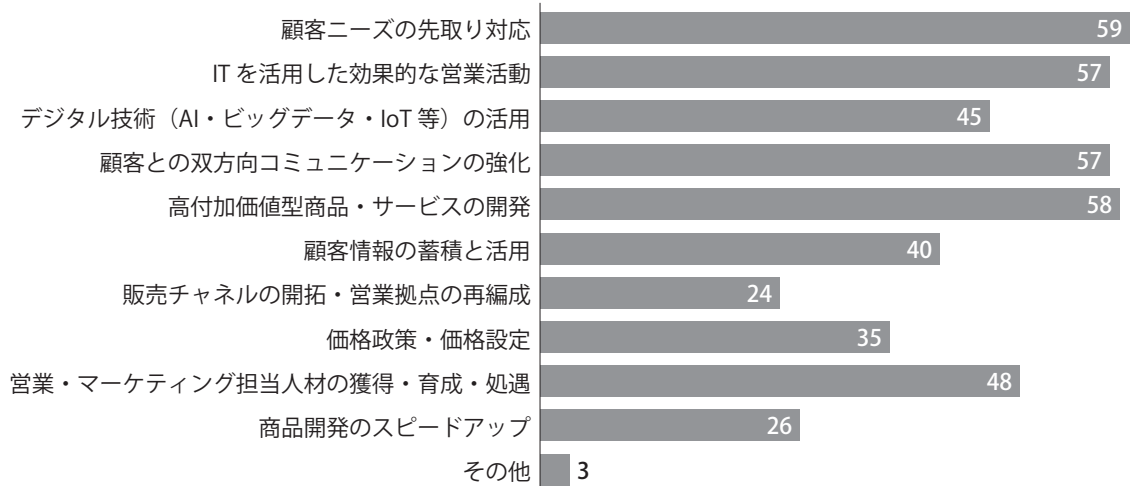
1. 経営戦略に関する経営課題をお聞かせください。(複数回答可)



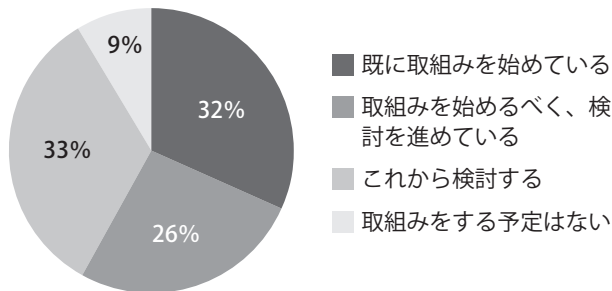
2. 組織・人事に関する経営課題をお聞かせください(複数回答可)



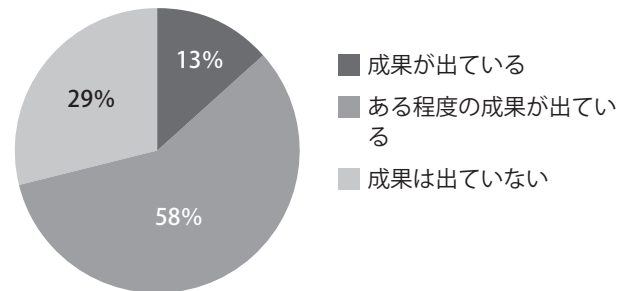
3. 営業・マーケティングに関する経営課題をお聞かせください（複数回答可）



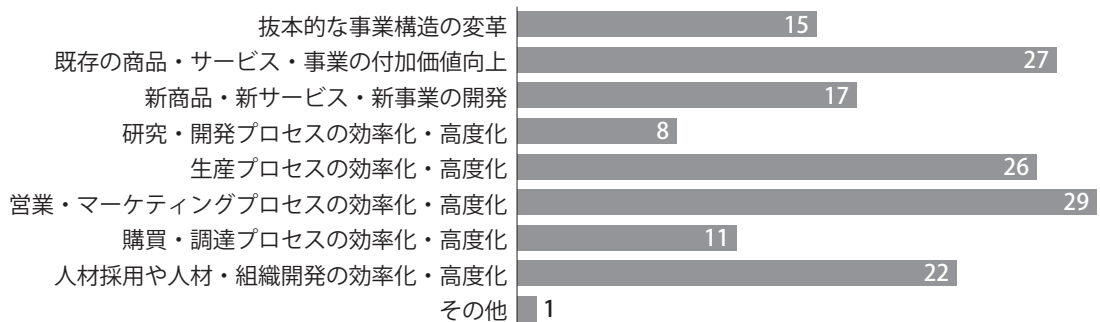
4. DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組状況をお聞かせください



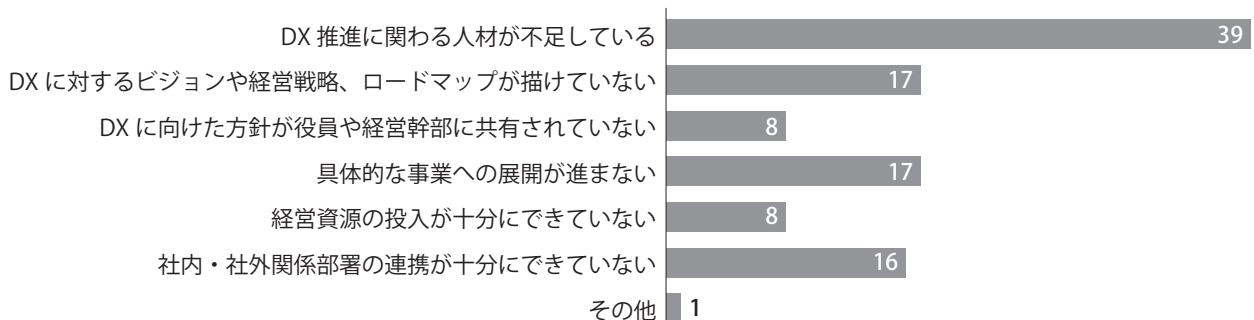
5. 【DX取組みを始めている場合】取組みの成果についてはいかがですか



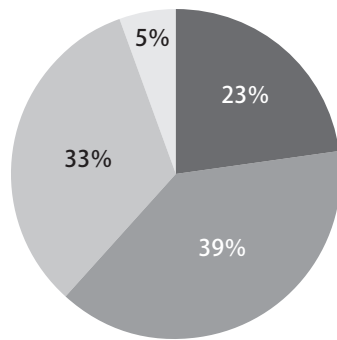
6. 【DX取組みを始めている場合】取組みの目的として重視していることは何ですか（複数回答可）



7. 【DX取組みを始めている場合】取組みを進めていく上での課題をお聞かせください（複数回答可）

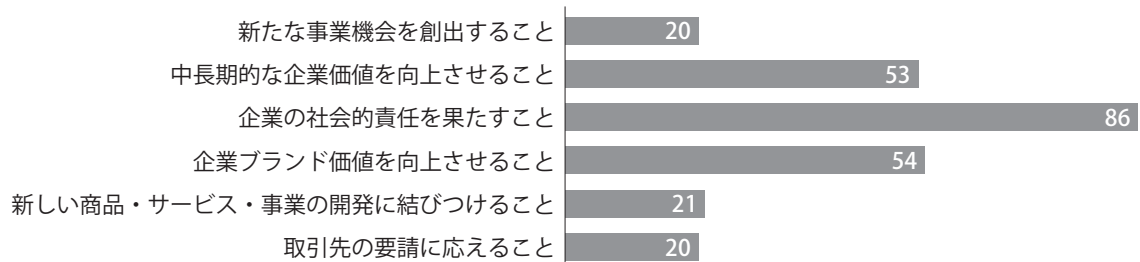


8. SDGsの取組状況についてお聞かせください

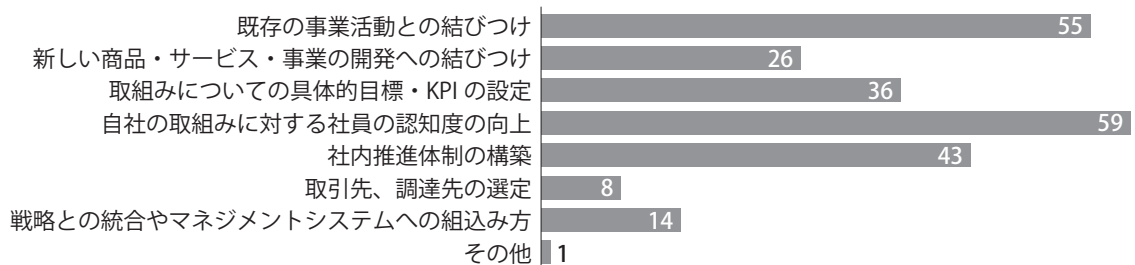


- 具体的な目標を設定して取り組んでいる
- 具体的な目標の設定はしていないが、SDGsに沿った活動を行っている
- 今後、取り組みたいと考えている
- 取り組む予定はない

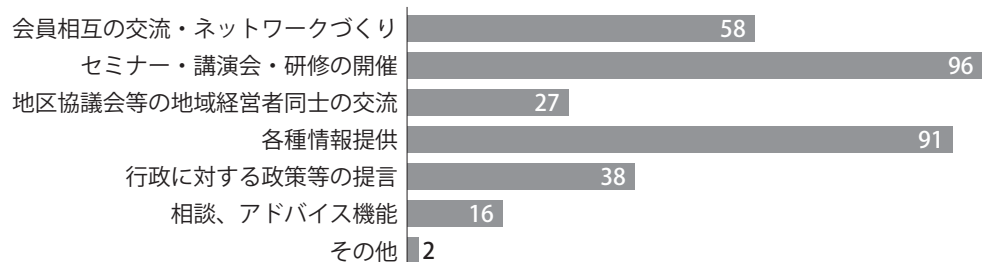
9. 【SDGsに取り組んでいる場合】取組みの目的として重視していることは何ですか（複数回答可）



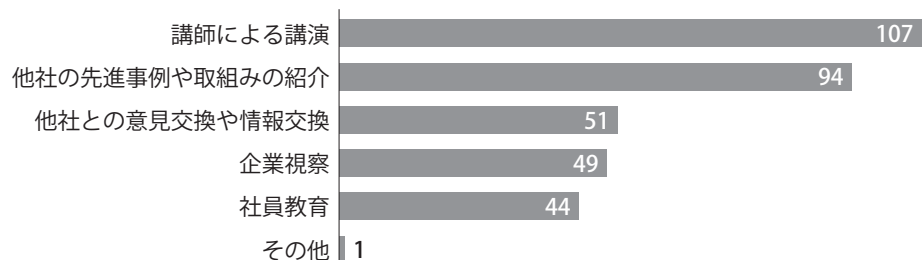
10. 【SDGsに取り組んでいる場合】取組みを進めていく上での課題をお聞かせください（複数回答可）



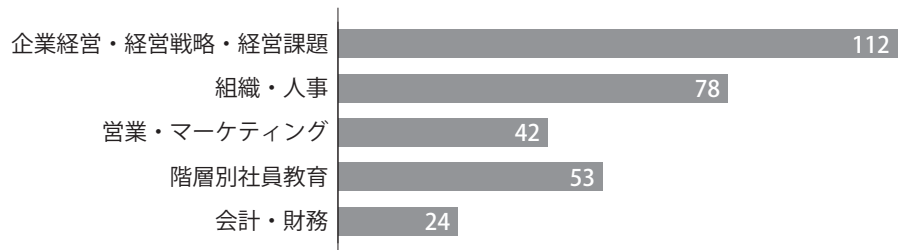
11. 埼玉県経営者協会に期待することは何ですか（複数回答可）



12. セミナー・講演会・研修で希望する内容や形式は何ですか（複数回答可）



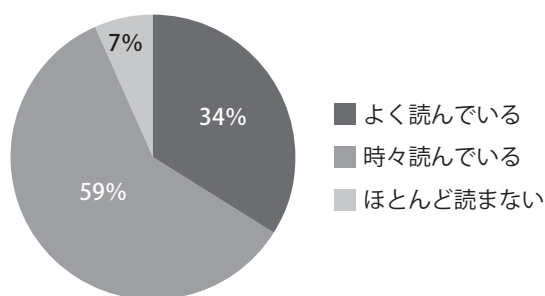
13. 研修で参加したい分野は何ですか（複数回答可）



14. その他、研修等で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください

- ・デジタル化の進展による業務改善事例など
- ・AIやロボット等を活用している企業の紹介等
- ・各種法令の研修会
- ・ESG、カーボンニュートラル等課題への取組方、実例
- ・SDGs関連 SDGsとは何か、取組み方、他社事例 など

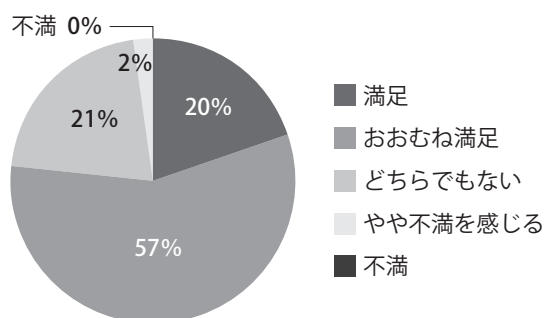
15. 会報誌についてお伺いします。「埼経協ニュース」はご覧になっていますか



16. 会報誌のリニューアルを予定しております。内容・形式等について、ご意見やご要望がありましたら、お聞かせください

- ・白黒で文字が小さく、読みづらい
- ・会報誌というよりも議事録の印象が強い など

17. 埼玉県経営者協会の活動に対する総合的な満足度はいかがですか



18. 埼玉県経営者協会に対して、ご意見、ご要望等がありましたら、お聞かせください

- ・女性参加者の機会を増やしてほしい
- ・交流や情報交換する場の提供をお願いします
- ・コロナ対策では埼玉県情報をメールでいただき、社員への周知資料に活用できました
- ・コロナ禍でも多くの講演をWEB等を用い実施していることは素晴らしいと思います など

会員企業の皆様へ

大変お忙しい中、会員アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。皆様より頂戴いたしましたアンケート結果、ご意見・ご要望につきましては、来年度の事業計画に反映し取り組んで参ります。なお、特に多くの会員の皆様に課題として挙げていただいた項目につきましては、課題解決の一助となる事業運営に努めて参りますので、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ
第129回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎048-647-4100
FAX 048-641-0924

研究の内容

産業への展開



データ分析を支援する技術と人材育成

大学院理工学研究科 数理電子情報部門 情報領域
平松 薫 教授

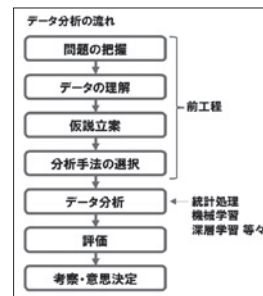
近年のコンピュータの高性能化と記憶装置の大容量化により、様々な分野の多様な場面で、データを集めることが可能となり、その分析結果を根拠とした客観的な判断が可能になりつつあります。例えば、小売業であれば、売上データに基づく売れ筋/死に筋商品の分析により、在庫保有コストの削減が可能になります。また、行政機関では、客観的な統計データや各種指標等に基づく政策立案(EBPM)が導入されつつあります。

しかし、闇雲にデータを分析しても、有用な結果が得られる可能性は限りなく低いです。まず、置かれた状況において解くべき課題を把握し、データの特徴を理解し、仮説を立て、適切な手法を選択してデータの分析を行う必要があります。このデータ分析の前工程は、その後工程となるデータ分析作業より重要と考えます。そして、分析対象に関する専門知識とデータ分析に関する知識・技術をあわせもつ人材と、データの理解と分析手法の選択を効率的に行うための技術が必要になります。

こうした背景の下、現在、多様な観点からデータを観察可能にするための可視化技術と、多数のデー

タ分析手法の中から対象データに最適な手法を効率的に見つけ出すための探索法の研究を進めています。これらの技術により、データ分析作業を行う前の前工程のハードルを下げ、短時間かつ効率的に有意なデータ分析結果が得られるようにすることを目指しています。

また、2018年に内閣府が発表したAI戦略では、データ分析の重要さが指摘されており、AI・数理・データサイエンスに関する技術を習得し、自分の専門分野に応用できる人材の育成が、施策の一つとして挙げられています。これを受け、埼玉大学では、理工系の学生を対象に、数理データサイエンスに関する特別教育プログラムを立ち上げており、専門分野に関する深い知識に加え、データサイエンスに関する技術・ノウハウを持った人材の育成を推進していく予定です。



データ分析は、新しい発見から日常業務の改善まで、様々な場面で役に立つ可能性があり、その着手の容易化に貢献できるかもしれません。

学歴・略歴

平松 薫

(ひらまつ かおる)

1971年埼玉県生まれ。

1994年慶応義塾大学理学部卒業、1996年慶応義塾大学大学院修士課程修了、2002年京都大学大学院後期博士課程修了、博士(情報学)。

NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTT空間情報株式会社等を経て、2021年4月より現職。

専門は人工知能、メディア情報処理、地理情報処理。



格差・貧困の測定と社会保障制度の在り方

大学院人文社会科学研究所 経済学研究領域
大津 唯 准教授

1980年代以降、世界的に格差の拡大が進んでいます。先進国における所得と資産の格差の水準が、第一次世界大戦前の水準に戻ったことを実証したトマ・ピケティの「21世紀の資本論」は、日本でも大きな話題となりました。日本でも、所得格差を表すジニ係数や相対的貧困率は悪化しており、格差の拡大と貧困の深刻化の傾向は明確となっています。2000年代半ば以降は、「ワーキングプア」、「下流老人」、「子どもの貧困」といった問題が提起され、社会において広く認識されるようになりました。

私の主要な研究テーマは、このような現状を踏まえて、(1)日本における格差・貧困を定量的に測定することと、その解決策として(2)社会保障制度がどうあるべきかを研究することです。前者については、財・サービスの利用可能性という観点から人々の生活の実態を直接的に測定する「剥奪指標」という貧困指標を用いて、所得に基づく指標だけでは見えにくい貧困の実態把握を進めています。後者については、年金

や医療・介護など個別分野の制度研究を行っている他、国民皆保険・皆年金を柱とする日本の社会保障制度から「零れ落ちた」人々に焦点を充て、その実情の把握に取り組んでいます。

過去数十年に渡る格差・貧困の拡大と、世代を超えた格差・貧困の固定化という実態を踏まえれば、社会保障制度を通じた再分配の強化は不可避です。加えて、パンデミックや大規模災害によって多くの人が困窮状態に陥ることがないような体制づくりも求められます。その一方で、人口の高齢化に伴う社会保障給付費の大幅な増加が、国や地方の財政を大きく圧迫していることは、社会保障制度改革の大きな制約となっています。そのような制約の中で、制度改革の最適解を探るべく研究を進めるとともに、政策決定に具体的な貢献ができるよう、国や自治体との共働も行っています。

(再)分配という観点からの経済に対する理解を深めたいというご要望があれば、お役に立てると思います。また、健康・医療・福祉の分野を中心に自治体の政策評価の支援を行っており、それを活かしてお役に立てることもあるかもしれません。

学歴・略歴

大津 唯

(おおつ ゆい)

2009年慶応義塾大学経済学部卒業、2011年慶応義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了、2014年慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。

立教大学経済学部助教、国立社会保障・人口問題研究所研究員を経て、2018年度より現職。

「ものづくり大学」へようこそ

連載
第110回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎048-647-4100
FAX 048-641-0924



ビジュアルフィードバックによるステアリング制御

総合機械学科 ビチャイ サェチャウ 教授

近年、自動運転技術がレベル5の実現を目指して、著しく進化している。このような自動運転システムにおいては、車線追従制御が必然的に求められている。このため、車の走行方向の制御、すなわちステアリング制御が必要不可欠である。モデル予測制御や深層学習制御やPID制御などのアプローチがこれまで多く報告されている。

本研究では、車線に追従するためのステアリング制御の一方式を提案する。まず、カメラ画像のデータから、OpenCVを用いたハフ変換等による車線の座標情報を抽出する。次に、この車線の座標情報から生成される目標軌道に対する誤差、すなわち車の進行方向と側面方向のエラーが含まれる値を算出し、この誤差を抑えるようにステアリングの角度をPIDコントローラで制御する。本ビジュアルフィードバックシステムの構成は図1に示す。

まず、ビジュアル部では、OpenCVのハフ変換および曲線近似などで車線を抽出した上、走行目標軌道を生成する。そして、カメラ画像のセンターライン、すなわち車の姿勢ベクトルを走行目

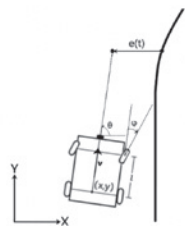


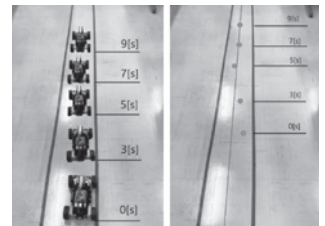
図1 ステアリング制御のモデル

標軌道と比較して、前述した誤差 $e(t)$ が算出される。同図、PIDコントローラはこの誤差がゼロに保たれるようにリアルタイムでステアリングの角度を制御する。ステアリングの角度は下式のように求められる。

$$\varphi(t) = k_p e(t) + k_i \int e(t) dt + k_d \frac{e(t)}{dt}$$

ただし、 k_p, k_i, k_d はそれぞれ比例ゲイン、積分ゲイン、微分ゲインである。

本ステアリング制御方式の車線追従性を実験で検証するために、RC電動カーを対象とした走行実験を行った。写真1に示す走行の状況により、車線に追従しながらの走行が可能であることを確認できた。



(a) 走行中のモーションショット (b) 誤差の収束性

写真1 車線追従走行実験

今後、様々な目標軌道および車体の諸パラメータの変動に対して、深層学習(AI)によるPIDのセルフチューニングを検討したい。

ビチャイ サェチャウ (びちやい さえちやう) 教授、King Mongkut's Institute of Technology North Bangkok卒、東京工業大学大学院博士課程終了、2001年4月からものづくり大学講師、現在 教授。電気学会、計測制御学会所属。
(連絡先: 048-564-3840/vichai@iot.ac.jp)



熟練者と素人のちがい

建設学科 高橋 宏樹 教授

建物の壁や床を仕上げる左官作業では、やわらかい材料をコテを使って形を整えながら、後で剥がれないようにしっかりと塗り付ける必要があります。これには多くの訓練が必要で、素人には容易くは出来ません。熟練者と素人には何か「ちがい」があるはず。この「ちがい」がわかれば素人が熟練者に近づくために役立つと思い、実験してみました。

実際の左官作業は複雑なので、一定量の左官材料を1回だけ壁に塗り付ける単純な動作としました。1回だけ塗り付ける動作ですので、だいたい5~6秒程度で終わります。これを熟練者5名、素人7名にそれぞれ5回ずつ行ってもらいました。このとき、塗り付ける際にコテで壁を押し方向の力を同時に計測しました。さらに材料が固まった後に、ちゃんとくっついているかどうかの確認のために左官材料の引張荷重も測定しました。

結果を図に示します。横軸は壁を押し方向の力で、大きいほど材料を壁にグイッと強く押し付けていることになります。縦軸は左官材料の引張荷

重で、大きいほど良くくっついていることを示します。●は熟練者の5人×5回=25回の結果で、○は素人の7人×5回=35回の結果です。●が図の上の方に、○が下の方に集まっていますので、熟練者の材料は良くくっついていて、素人との「ちがい」は歴然としています。これは当たり前ですね。ところが意外にも、壁を押し方向の力は、図中の2本の破線の間にほとんど納まっていて、熟練者と素人に大きな「ちがい」はなかったのです。つまり押し方に「ちがい」はないのに、くっつき方には「ちがい」があるのです。動作を単純にしたせいかもしれませんが、興味深い結果となりました。現在悪戦苦闘中です。

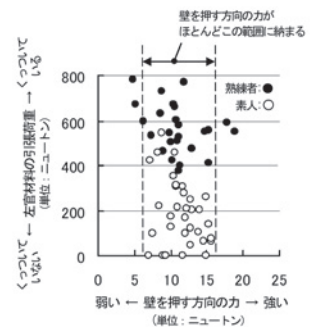


図 左官材料の引張荷重と壁を押し方向の力の関係

高橋 宏樹 (たかはし ひろき) 教授、順天堂大学大学院体育学研究科修了 博士(工学)。同大学体育学部生理学研究室嘱託、東京工業大学工学部建築学科助手、2002年4月からものづくり大学講師、現在 教務長・教授。
(連絡先: 048-564-3867/takahashi@iot.ac.jp)

青年経営者部会 一二月例会

① 講演会「小江戸から世界へ、グローバルな

ポジシヨニングとブランディング」

株式会社協同商事コエドブルワリー

代表取締役社長 朝霧重治氏

② 情報交換会（懇親会） 開催

一二月一七日(金)、青年経営者部

会一二月例会をパレスホテル大宮

で開催し、十六名の方にご参加い

ただきました。

◆第一部 講演会

◆コエドブルワリーのご紹介

「Beer Beautiful」をコンセプトに掲げ、川越産のサツマイモから製造した「紅赤ーBenders」を筆頭に、日本の職人たちによる細やかなものづくりと「ビールを自由に選ぶ」というビール本来の豊かな味わいの魅力を、クラフトビール「COEDO」を通じて、武蔵野の農業とともに発信している



講演を行う朝霧重治氏



講演会の様子



情報交換会（懇親会）の様子

玉県拠点のビールブランド。

◆講演会の概要

・コエドビールのテロワール(土地の個性)

コエドビールが生まれた背景には、川越の農業の歴史がある。有機野菜を栽培する土づくりのために、輪作として植えて収穫せずにいた麦と、規格外で廃棄されていたサツマイモからビールを作っているのかという着想がコエドビールの原点である。

・ビジネスとしてのポイント

① 自社のミッションと市場でのポジシヨニング

「日本文化・職人気質・美をビールの形で世界へ伝える」ことをミッションとし、地域・観光産業という従来型コンセプトの「地ビール」から離れて、職人による、人を中心においた高品質なものづくりというコンセプトに転換することで「クラフトビール」という新市場を創出し、その中でブランド価値を確立。

② ブランディングという視点

プロジェクトにデザインを取り入れブランド化することで、長期的な安定をもたらし、かつ高い評価を得ている。デザインは費用ではなく、資産。

③ グローバルなポジシヨニング

日本は外から見た時、独特でユニークである。グローバルに考え、ローカルに行動するという考えのもと、日本と地域の文化と風土を生かし、ブラッシュアップしながら強力なコンテンツとしていくことが大切。

◆第二部 情報交換会(懇親会)

ご講演をいただいた朝霧社長、

経営者協会原会長、廣澤専務理事にもご臨席いただき、特別会員の方にもご参加いただきまして、約二年ぶりとなる懇親会を行いました。感染防止対策を講じた上ででの情報交換会(懇親会)となりましたが、歓談をしながら和やかな雰囲気の中で情報交換ができ、有意義な交流の機会となりました。

青年経営者部会 一月例会

① 講演会「わが社の『人を大切にする経営』」

大和合金株式会社

代表取締役社長 萩野源次郎氏

② 事例発表「脱炭素に向けた十年越しの取り組みに関して」

株式会社 白田ファインモーターズスクール

代表取締役 白田和弘氏

③ 情報交換会を開催

一月二四日(月)、青年経営者部会一月例会をオンラインで開催し、十五名の方にご参加いただきました。

◆第一部 講演会

大和合金株式会社は、特殊銅合金の開発、製造メーカーとして、高い技術力を基盤に、近年は販路を航空機産業や宇宙・核融合分野にも広げられています。「人を大切に

業庁長官賞」を受賞されました。同社は「ニッチな業界で世界一の企業」「社員が誇りと自信をもって家族や友人を勧誘したくなる企業」を目標に様々な取組をされています。固有技術・管理技術・人間力の向上を目指した月例勉強会、能力向上のための頻繁な人事異動、優良社員表彰制度、家族と共に行う社員研修旅行、B・B・Q大会など社員交流にも力を注がれています。事業戦略として、十年後を見据



講演をする萩野源次郎氏

え事業の優先順位を決定し、主要な展示会や商談会に参加出展し続け、認知度と技術の向上を図っていること、また、航空産業、宇宙産業、核融合、海外事業等への具体的な取組みを紹介いただきました。

また、人材戦略として、地域と社員に愛される企業を目指した取組として、社員への誕生日プレゼント、近隣清掃活動などを紹介いただきました。また、少人数でありながら、人材のダイバーシティ化を目指すことで逆境に強い柔軟かつ強靱で最強な組織を目指しているとのことでした。



事例発表をする白田和弘氏



講演の様子

年齢・性別・国籍・価値観にとられず、社員一人ひとりを大切にしながら、技術力を向上させ、世界一を目指す取組みを知る貴重な機会となりました。

◇**第二部 事例発表**

株式会社白田フラインモーターズ
クールはエコドライブ教育をはじめ、

多様な啓発活動を行い、環境大臣賞 三回、文部科学大臣賞一回など多くの賞を受賞し、メディアにも数多く取り上げられています。

二〇〇八年より、自社オリジナルの教育「楽エコ教育」を提供してきました。「エコじゃ食っていけない」という業界の常識に対しても、「環境問題は一過性のものではない」「他企業や行政からの評価が高い」と信念をもって継続し、十年

『働く女性応援講座』とともに学び、素敵にキャリアアップ！』を開催

埼玉県内在住または在勤の働いている女性を対象にした講座です。今年度は全二十四講座をオンラインで開催しました。九月以降の講座について実施結果をご紹介します。

第六講「OJTの進め方」
九月二二日(火)二六名参加
講師：上岡実弥子氏

部下や後輩育成を目的として、今どきの人材育成の心構え、ティーチングのポイント、OJTの五ステップを学習しました。

新入社員が定着する職場とは、受け入れてくれる「先輩」がいるという共通点があります。現代において、背中で教える等の昔の手法では人材定着は困難です。まず

間の取組で、①認知度・信頼度の向上②採用人数の増加③人材育成などの効果が上がったと話されました。

最後に、環境志向の経営に変えたことで「ひとが育つ、会社が育つ」ことを実感したとし、これからも「楽エコでつくるうれしい未来」を届けていきたいとまとめられました。

第七講「セルフマネジメント講座 ～私の中のストレスを知る～」
九月二四日(金)十七名参加
講師：内海典子氏

ストレスの基礎知識を学び、上手にストレスと付き合う方法、セルフマネジメント方法を学びました。

グループワークでメンバー間での共有を行うことで、それぞれの考え方が柔軟になっていく様子が見受けられました。

はしっかりとしたティーチングを行うことが重要で、そのためのOJTの方法を学びました。

第九講「ビジネスコーチング」
十月五日(火)二五名参加
講師：上岡実弥子氏

教えるのではなく、部下の能力を引き出す「コーチング」。コーチングの核となる考え方や基礎スキルについて演習を通じて学びました。特にウィズコロナでテレワークが増加する中、オンラインを通じて傾聴の姿勢を再確認しました。

第八講「キャリアデザイン研修」
九月二八日(火)二九名参加

講師：上岡実弥子氏

自分の得意・不得意、期待されていることなどを整理し、強みを伸ばす方法を考えました。

企業のキャリアデザイン研修は、「キャリアパス」「ポスト」のみを考えがちですが、本研修で仕事を含む人生全体を考えたことで、広い視点でキャリアをとらえるきっかけになったようです。

第十講「印象管理 ～自分らしい演出～」
十月十三日(水)二五名参加
講師：大網香苗氏

印象管理とは、色彩効果や所作で自分らしい印象の演出をすることです。パーソナルカラーの属性の効果やマナーを知り、自分磨きに役立ちます。

所作やエクササイズは実習もでき、身近な内容なので生活に取り

講師：上岡実弥子氏

自分の得意・不得意、期待されていることなどを整理し、強みを伸ばす方法を考えました。

講師：上岡実弥子氏

教えるのではなく、部下の能力を引き出す「コーチング」。コーチングの核となる考え方や基礎スキルについて演習を通じて学びました。特にウィズコロナでテレワークが増加する中、オンラインを通じて傾聴の姿勢を再確認しました。

講師：上岡実弥子氏

自分の得意・不得意、期待されていることなどを整理し、強みを伸ばす方法を考えました。

入れやすい様子でした。

第十講「アサーショントレーニング」

十月十四日(木)二六名参加

講師：三ツ矢玲子氏

お互いの価値観を尊重しながら対等な関係を築く「アサーティブ」な自己主張を学びました。

グループに分かれ、事例ごとに、アグレッシブな対応、ノンアサーティブな対応、アサーティブな対応を考え、受ける印象などを比較しました。

第十二講「ロジカルシンキングと問題解決」

十月十八日(月)三〇名参加

講師：上岡実弥子氏

日常的に発生する問題を見つけ、優先順位の付け方、解決のステップ、手法について学びました。

ロジカルシンキングでは「なぜなら」「大きく分ける」「要するに」の三つの技術について演習を通じて理解いただきました

※以下の講座は、第一講から第十二講と同様の内容につき、詳細は省略します。

第十三講「コミュニケーションスキル基礎〜傾聴・伝え方〜」

十一月四日(木)四三名参加

講師：内海典子氏

第十四講「リーダーシップとメン

バーマネジメント」

十一月二十日(土)九名参加

講師：三ツ矢玲子氏

第十五講「キャリアデザイン研修」

十一月二十六日(金)三二名参加

講師：上岡実弥子氏

第十六講「仕事の進め方」

十二月十四日(火)二九名参加

講師：上岡実弥子氏

第十七講「OJTの進め方」

十二月二十二日(水)二〇名参加

講師：上岡実弥子氏

第十八講「リーダーに知ってほしい心のケア」

一月十二日(水)二七名参加

講師：山岡正子氏

第十九講「アサーショントレーニング」

一月十四日(金)二四名参加

講師：三ツ矢玲子氏

第二十講「印象管理〜自分らしい演出」

二月二日(水)十二名参加

講師：大網香苗氏

第二十一講「女性活躍とダイバーシティ」

二月十日(木)十七名参加

講師：山岡正子氏

第二十二講「ビジネスコーチング」

二月十六日(水)二四名参加

講師：上岡実弥子氏

第二十三講「セルフマネジメント講座〜私の中のストレスを知る」

三月四日(金)十七名参加

講師：内海典子氏

第二十四講「ロジカルシンキングと問題解決」

三月十日(木)二五名参加

講師：上岡実弥子氏

働く女性応援講座
～ともに学び、素敵にキャリアアップ！～

2021 Vol.2

キャリア別講座チャート

| 初級 (就職～3年目程度) | 中級 (中堅社員) | 上級 (管理職候補) |
|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| コミュニケーションスキル～傾聴・伝え方～ (No.1) | OJTの進め方 (No.6) | ロジカルシンキングと問題解決 (No.6, 10) |
| 仕事の進め方 (No.2) | リーダーシップとメンバーマネジメント (No.12) | セルフマネジメント (No.13) |
| 仕事管理～自分らしい演出～ (No.3, 10) | リーダーに知ってほしい心のケア (ポイントについて) (No.10) | ビジネスコーチング (No.1, 14) |
| アサーショントレーニング (No.3, 11) | キャリアデザイン研修 (No.4) | 女性活躍とダイバーシティ (No.11) |
| セルフマネジメント講座～私の中のストレスを知る～ (No.13) | | |

埼玉県女性キャリアセンター
〒330-0081
さいたま市中央区新都心2-2 ホテルプリランテ武蔵野4階
埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま) 内
TEL 048 (601) 5810 FAX 048 (601) 5811
https://www.pref.saitama.lg.jp/swcc/

全国ネットの人材情報で、出向・移籍等の支援！

お気軽にご相談ください

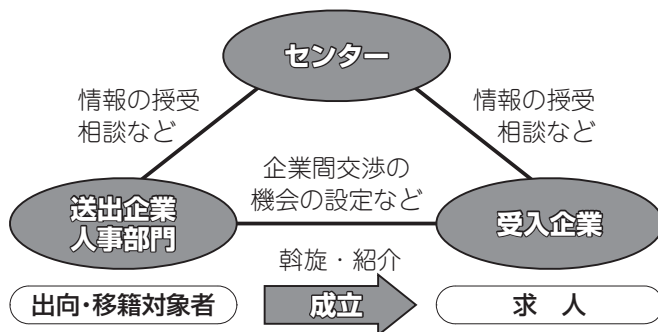
企業間の人材マッチングをサポートしています。

信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

無料

情報の提供、相談、あっせんの費用はかかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121 (土・日・祝日休)

http://www.sangyokoyo.or.jp/

出向・移籍の
専門機関



公益財団法人
産業雇用安定センター

埼玉
事務所



埼玉県からののお知らせ

埼玉県経営革新計画 デジタル活用支援事業 補助金(第2回)の 公募を開始します

埼玉県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経営環境の変化に対応するため、デジタル技術を活用した経営革新計画の実行に必要な費用を補助します。

○公募期間 令和4年4月25日(月)から令和4年6月30日(木)まで

○対象者

- 1 県内に登記簿上の本店(個人事業主は住民票上の所在地)及び主たる事業所を有する者
- 2 組合の場合は、事業及び経費の分担が明確であり、構成員への成果普及体制が整っていること
- 3 令和3年度に県から経営革新計画の承認(変更承認を含む)を受けている者で、承認された計画に基づき、デジタル技術を活用した新サービス・新製品の開発、効率化による生産性向上、

販売促進等を行う者

- 4 令和2年4月以降の任意の3か月の合計売上高が、令和2年3月以前の3か月の合計売上高より10%以上減少していること
- 5 補助金申請日時点で、県内で事業を行っており、引き続き、県内で事業を継続する意思があること

○補助対象経費

建物費、機械装置・システム構築費(リース料を含む)、技術導入費、専門家経費、クラウドサービス利用費、外注費等

○補助率 補助対象経費の2分の1

○補助額 50万円～150万円

○必要書類 県ホームページよりダウンロードしてください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0803/2021jgyousaikouchikuh.html>

○問い合わせ先

県産業支援課 (048-8330-3903)

令和4年度前期 技能検定試験実施の お知らせ

技能検定は様々な職種で働く人の技能を評価する国家検定制度で、企業や学校で長年にわたり技能の向上に活用されています。

県では、建築大工や機械検査など約40職種の検定を実施します。

受検するためには、等級ごとに定められた受検資格が必要です。

受検申請に関する詳細は、県内各所で配布する受検案内を御確認ください。

○試験日程

令和4年9月11日(日)の期間内で県職業能力開発協会が指定する日

○受検案内・受検申請書配布場所

県職業能力開発協会(さいたま市浦和区北浦和5-6-5)

○受検申請方法

令和4年4月4日(月)～15日(金)に受検申請書を同協会へ提出(原則郵送)

○受検手数料(各等級・職種共通)

1. 100円
2. 200円
3. 300円

○実技試験のみ受検

実技と学科の両方 21,300円

○問い合わせ先

受検申請・実施職種について
県職業能力開発協会 (048-8229-2802)

<http://www.saitama-vada.or.jp/>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0811/kenet/index.html>

社員の スキルアップ講習に 県が講師を派遣します

県では、中小企業等を対象に、講師派遣による在職者向けスキル

アップ講習を実施しています。

いつもの作業環境や使い慣れた機械で実践的な技術指導が受けられます。

○講習分野

機械操作、溶接、CAD、ITスキル、介護スキルなど様々な分野の講習が可能です。

○定員

3人以上(最大人数は講習によって異なります)

○講習時間等

1講習当たり12～30時間(ご要望に応じて実施日や時間を設定可能です)

○受講料

1人当たり2,000円(材料費・テキスト代等は、企業でご負担いただけます)

○問い合わせ先

県産業人材育成課 (048-8330-4598)

仕事の現場撮影協力 企業等を募集します

県では、中学生の勤労観・職業観を育み、将来の職業選択の幅を広げることを目的とし、県内の様々な仕事を紹介する動画を制作します。

○募集業種

- ①製造業(VR動画付き)
- ②電気・ガス・熱供給・水道業
- ③金融業・保険業
- ④不動産業・物品賃貸業
- ⑤宿泊業・飲食サービス
- ⑥その他サービス業
- ⑦医療・福祉

○問い合わせ先

県産業人材育成課 (048-8330-4602)

○応募方法

様式は問いません。「業種」、「企業・団体名」、「住所」、「連絡先」、「PRポイント」を記載のうえ、問い合わせ先にメールで送信してください。

○応募期限

令和4年5月末

○問い合わせ先

県産業人材育成課 (048-8330-4607)

メール 24590-01@pref.saitama.lg.jp

彩の国卓越技能 アドバイザー制度を 御活用ください

県では次代の担い手となる若年技能者の育成支援のため、現代の名工(厚生労働大臣表彰)受賞者や事業所などに派遣する事業を行っています。

○一つの道を極めた方の体験談を聞きたい

ものづくりのコツなどの話を聞きたい

○技能競技大会出場に向けてアドバイスがほしい

ものづくり体験教室に教えに来てほしい など

○実施内容は講話が基本となりますが、技術指導等も相談に応じます。

派遣費用は無料です。材料を必要とする指導等を御希望の際は、材料費等を御負担いただく場合があります。

○問い合わせ先

県産業人材育成課 (048-8330-4602)

テレワーク制の労働時間の柔軟化

弁護士 安西 愈

新ガイドラインによる柔軟化

令和三年三月二十五日公表の「テレワークの適切な導入及び推進のためのガイドライン」は、それ以前のガイドライン(平成三〇年二月二日公表のものとは異なり、相当弾力化されている。

それは「テレワークは、ウィズコロナ・ポストコロナの『新たな日常』、『新しい生活様式』に対応した働き方であると同時に、働く時間や場所を柔軟に活用することの出来る働き方として、更なる導入・定着を図ることが重要である。」との趣旨からうかがわれる。

ポイント労働法

これは、菅内閣時代の規制改革推進会議で「テレワーク推進の観点から制度の取扱いや運用の明確化や柔軟化を行う。」との方針の下に策定されたものである。

労働時間の柔軟化

新ガイドラインでは、労働時間の柔軟な取扱いとして、「通常の労働時間制度及び変形労働時間制」について、「通常は、始業及び終業の時刻や所定労働時間をあらかじめ定める必要があるが、テレワークでオフィスに集まらない労働者について必ずしも一律の労働時間に労働する必要がないときには、その日の所定労働時間はそのままとしつつ、始業及び終業の時刻についてテレワークを行う労働者ごとに自由度を認めることも考えられる。

このような場合には、使用者が

告知版

★新入社員研修(来場型研修)

日時 四月五日(火)九時三〇分～一六時四十分

会場 ソニックシティ四〇一・四〇二

内容 ソニックシティに於いて、一日も早く職場の活力となるために、早稲大学総合研究所株式会社パートナー講師 古澤美奈子人材教育研究所 代表 古澤美奈子氏

★新入社員研修(オンライン研修)

日時 四月一日(月)九時三〇分～一七時〇〇分

会場 オンライン開催

内容 速やかに職場に適應し、一日も早く職場の活力となるために、早稲大学総合研究所株式会社パートナー講師 古澤美奈子人材教育研究所 代表 古澤美奈子氏

★安全管理者選任時研修

日時 四月二日(火)、五月一日(水)、五月三日(木)

会場 JA共済埼玉ビル

内容 安全管理者を選任しなければならない事業者様へ絶対の機会として、株式会社ウエルネットとの共同開催 株式会社ウエルネット専任講師 松本陽子氏・中村文彦氏 大谷洋氏

★第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座

日時 五月二六日(木)・二七日(金)、六月二〇日(月)・二一日(火)

会場 JA共済埼玉ビル

内容 合格率八九・四％を誇り試験・合格請負人として有名な株式会社ウエルネットとの共同開催

講師 株式会社ウエルネット専任講師 宮下育之氏・北村みはる氏
★令和四年度埼玉県産業労働部主要施策説明会

日時 四月二一日(木)一四時〇〇分～一六時〇〇分

★令和四年度人事・賃金講座

日時 四月二五日(月)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 ソニックシティ四〇三・四〇四 仕事基準の納得性を高める人事考課制度

講師 経団連事業サービス・人事賃金センター長 平田武氏

★令和四年度第一回SDG委員会

日時 五月一六日(月)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 SDG導入研修

講師 株式会社インソース 百瀬裕也氏

★令和四年度第一回働き方改革・働きがい向上委員会

日時 五月二三日(月)(DAY1)、六月二日(火)(DAY2)、七月二〇日(水)(DAY3)

会場 ソニックシティ四〇三・四〇四

内容 1. on1ミーティング 3 DAYSセミナー「圧倒的組織力向上がみられる企業が導入しているのは、lon1ミーティングです」

講師 「実践行動」「応用行動」をたっぷり時間をかけて体得しましょう

会員の動き

〈新入会のご案内〉

株ワイエイチトレイディング 代表取締役 中山 三夫

さいたま市浦和区前地二一三二一六〇三
電話〇四八八五一一六六八八(資)一千万円

〈代表者変更〉

株田口型範 代表取締役社長

田口 脩一郎(旧 田口 順)

〈社名変更〉・〈住所変更〉

株デリモ (旧 株クリタエイムデリカ)

〔草加市柿木町宝一三三八一五(旧 越谷市大沢三三七二)〕

〔住所変更〕
むさしのカード(株)
さいたま市大宮区桜木町一〇一八
(旧 さいたま市大宮区桜木町四一二一八)

〈お詫び〉

一二月に送付の会員名簿の誤り。

株関電工 北関東・北信越営業本部 埼玉支店
正 挟間 義浩 誤 挟間 義浩

株経協ニュース四二七号
2022年3月25日発行
さいたま市大宮区桜木町一七五八七
ソニックシティビル九階

発行所 一般社団法人埼玉県経営者協会
発行人 廣澤健一
編集人 宮田信久

印刷所 望月印刷株式会社
さいたま市中央区阿弥五八三二六